



# まなび通信

## 令和2年度中丹地域保育所(園)・幼稚園・小学校連携推進会議

令和2年9月3日(木)に中丹地域保育所(園)・幼稚園・小学校連携推進会議を行いました。中丹の子どもたちにはぐくみたい力について、園と小学校、保育行政、保健所などが連携して子どもたちの育ちと学びをつなぐことの大切さについて協議しました。

また、「幼児期の教育と小学校教育との連携・接続を考える」と題して、京都府教育庁指導部学校教育課幼児教育センター河嶋喜矩子アドバイザー様に、また「自尊心を高める取組～一人一人を見つめて～」と題して、綾部市立八田幼稚園長吉田純子様にご講演いただきました。

幼小連携の  
3要素とは

幼児期の教育と小学校教育の連携・接続を考える時、**カリキュラムをつなぐ**ことが大切です。スタートカリキュラムは、平成20年の学習指導要領で初めて生活科の解説に登場し、当時は小1プロブレムに対応するものとして小学校への適応がねらいでした。その後安心して学校生活を始めるためのカリキュラムとなり、新しい学習指導要領では、**子ども一人一人が生き生きと学びに向かう**「スタートカリキュラム」の編成と実施が求められています。



京都府教育庁指導部学校教育課  
京都府幼児教育センター  
河嶋 喜矩子アドバイザー

**一貫性** 幼小保育者・  
教師の交流討議の充実  
**連続性** 接続期カリキ  
ュラムの充実  
**互惠性** 交流双方が子  
どもたちの育ちにつな  
がる意義を持つこと



綾部市立八田幼稚園  
吉田 純子 園長

**自分を好きになり  
自信を付けた**子は、友  
達との折り合いを上手  
に付けられるようにな  
ります。友達の思いを  
受け入れ、自分の思い  
がよりよいものになる  
事を知った子は、さら  
に自分も友達も好きに  
なります。

仲間と共に**究極の  
自尊心を高めること**  
につながります。

園で大切にしていることは、

さんぱつ  
したんだね。

自分を好きになること



いいこと  
おもいついたね。

きのうより、  
できるよう  
になったね。

おたんじょうび  
おめでとう。

先生がその子のよいところを伝え続けること。

### 「ほめ方上手はしつけ上手」

～京都府中丹広域振興局 健康福祉部～

『ほめかた絵本』



※HP からダウンロード  
できます。

子どもは、分かりやすく教えてもらい、ほめられることで達成感を持ち、自分への評価を上げていきます。それによって、将来大きくなったときに生きる自信へつながっていくのです。

家庭・園・小・中学校みんな  
で、子どもの特性をよく理解し、  
寄り添っていききたいもので  
す。

### ～全体交流より～

- ・ 幼稚園では、小学校と「幼小でつなぎたいもの」を共有し、**交流活動を毎年恒例の行事と捉えるのではなく、マネジメントプランに基づいた内容や積極的な新しい試みを加えながら作成している**。今後もお互いのねらいを明確にした指導案の交換などを通して、交流にとどまらない意義のある活動にしていきたい。
- ・ **幼児期に遊び込む力が、小学校以降の学びに向かう力につながっている**。遊び込む中で、友達とのコミュニケーション力や試行錯誤の力、粘り強さなどが育っている。**小学校でも「自分でできる」と言える子が育ってきている**。